



JA古川広報誌

夢ふる

No.323

ゆめふる

2025

3

March



特集

3JA合同帰化アサガオ防除研修会

JA古川・加美よつば・新みやぎが参加

2 もくじ・表紙紹介

3 南部支店の「スマイルさん」産直旬だより「産直組織会員・ピーマン生産者募集中」

4 集落座談会 意見要望に対する回答

6 **特集** 3JA合同帰化アサガオ防除研修会
JA古川・加美よつば・新みやぎが参加

8 JAトピックス 豆腐作り体験 相続・資産相談セミナー ほか

10 営農 インフォメーション

13 おたより紹介 クロスワードパズル

14 情報コーナー 宮沢給油所 営業時間変更のお知らせ 令和6年度新採用職員紹介 ほか

16 本店移転に関するお知らせ

表紙紹介

今月の表紙は、1月30日に大崎市立敷玉小学校で行われた豆腐作りの様子です。詳細は8ページのトピックスで紹介しています。



JA古川はSDGsに取り組んでいます！

SDGsとは・・・「持続可能な開発目標」の略称。2015年に国連総会で採択された持続可能な世界の実現を目指すための国際社会の共通目標です。私たち自身と、子や孫、さらにその先の世代も豊かに安心して暮らせる未来が続くために、人類・地球全体が直面している貧困・飢餓・気象変動などの問題を解決するために17の目標を掲げ、2030年までの達成を目指して国や政府、民間、組織、個人など世界各国で取り組みが進められています。



ホームページは
こちらから▼



JA古川

今月のあなたの運勢 (2025.3月) モナ・カサンドラ

牡羊座(3.21~4.19)

【全体運】前へと進む勢いがあります。答えを出しかねていたことにもひらめきがありそう。友人や知人との交流を大切に
【健康運】運勢は好転。新しい健康法を試してみると吉 【幸運を呼ぶ食べ物】小松菜

南部支店の
「スマイルさん」

大崎市三本木地区でネギ栽培をしている佐藤芳章さん。子どもの頃から農業の手伝いをしていたこともあり、農業への興味は持っていたそうです。周りからの後押しもあり、3年前に就農しました。現在は大工をしている父親の手伝いをしつつ、地域の先輩農家さんからアドバイスをいただきながら水稲とネギ栽培に取り組んでいます。今後は「毎年少しずつでも品質を向上させること」「令和9年までに水稲を8畝、ネギ

の栽培面積を10㍓まで増やすこと」が目標で「周りの先輩方に情報をいただいたり、協力しながら面積拡大していきたい」と意気込みを語ります。そんな佐藤さんは釣りやボウリング、DIYが趣味だそうです。作業台や収納棚を作り、作業場を自分が使いやすいようにしています。以前は友人とよく釣りやボウリングに行っていたそうで「時間に余裕がきたら、またゆっくり釣りがしたいな」と話していました。

大崎市三本木高柳

佐藤 芳章 さん(39才)



栽培面積拡大に意気込む佐藤さん



産直組織会員募集中!!

JA古川では、産直野菜の販売をインショップで展開しています。

組織名:産直組織【あじ菜くらぶ】
出荷先:ヨークベニマル古川管内4店舗
仙台圏など12店舗

組織名:産直組織【ふれあい市】
出荷先:Aコープ古川店、松島店

加入希望の方、興味のある方はJA古川園芸課までお問い合わせください。

ピーマン生産者募集中!!



ピーマンは比較的簡単に栽培できる野菜で、出荷も重さごとに選別して箱にバラ詰めするだけです。令和7年度の水田活用直接支払交付金の対象となります。ピーマンを「転作田」で栽培して出荷すると、10,000円/10aの産地交付金が交付されます。

JA古川では令和4年から生産拡大に取り組んでおり、ピーマン生産者を募集しています。詳細はJA古川園芸課までお問い合わせください。

産直旬だより



あじ菜くらぶの産直コーナー



ふれあい市の産直コーナー

丹精込めて自分で
育てた自慢の野菜を
出荷してみませんか?

問い合わせ先: 営農部園芸課
TEL 0229-23-6527
FAX 0229-22-3091



集落座談会 意見要望に対する回答

2月10日から管内116会場で令和6年度第2回集落座談会を実施いたしました。今回の座談会では

- ① 令和7年度水田農業の推進について
- ② 当JAにおける自己改革の取り組み報告について
- ③ 本店移転等のお知らせについて

などを説明しました。ここでは、お寄せいただきましたご意見やご質問の中から抜粋して掲載いたします。なお、その他のご質問やご意見につきましては、支店窓口に取りまとめ書を備え付けておりますのでご覧下さい。

《総務関係》

Q 通常総代会の日当8,000円は高すぎる。弁当も出さなくてもいいのではないか。また、役員定数を削減すべきではないか。

A 総代会日当及び昼食については、ご意見を踏まえ検討して参ります。

役員定数については、直近では令和2年に理事4名、監事1名を削減しております。更なる削減については、今後の農協再編も見据え、検討して参ります。

Q 現本店1階2階の空事務所を会議室として活用できるようにしてほしい。また、敷玉給油所跡地の活用方法をどうするのか。旧青生出張所はいつ解体するのか。

A 現在の本店1階の金融共済部事務所はローン営業センターとして融資相

談窓口といたします。本店2階事務所にについては会議室としての活用についての検討はいたしますが、駐車場スペースの確保の観点から、大会議室としての活用には課題があります。

敷玉給油所跡地の活用方法を検討する場合、耐用年数を経過した地下タンクの処分を含めて検討する必要があります。跡地利用は容易ではないことをご理解願います。

旧青生出張所は老朽化が進んでおり安全確保の観点からも、早急に解体する方針であります。

Q 本店の移転に伴い、営農企画課が営農センターから本店に移転するのはなぜか。営農センターのワンフロアで済んでいた用件が一回で済まなくなり非常に不便だ。

A 大崎市の廃校利活用事業において当組合の地域貢献が求められ、地域農業振興を市と連携して進めるための共



西部支店(志田地区)

有スペースの確保を目的に、営農企画課を新本店事務所へ移設する事といたしました。

Q 若い職員の退職者がいるので、職員の定着率向上に努めて欲しい。

A 職員が働きやすく、支え合う職場づくり、職場改善を役職員一体となつて検討するとともに、健全経営の実践に取り組み職員の待遇改善を図って参ります。

Q JA古川検診助成について、各種健康検診の検診料値上げされていることから、JA助成金額の引き上げをお願いします。

A 検診助成金については、自己負担

金額に応じて助成金単価が設定されており、これまでも検診料値上げに伴い助成金額を引き上げている事例もあります。助成金単価の引き上げについては検討して参ります。

Q 現状を踏まえると、出席率が低い座談会の開催方法を検討するべきではないか。

A ご意見を踏まえ検討いたします。

Q 経営移譲や相続等、税務相談のできる部署をJA内に設置してほしい。葬祭、車検について、人員不足等を理由に対応することが出来ないと断られた。「人員配置」や「断り方」等。きちんとした対応をしてほしい。

A 高齢化等による農業生産基盤の弱体化が進む中、新規就農支援、事業承継支援等を通じた次世代対策は必要と認識しており、担当部署の設置を検討して参ります。

葬祭については人事異動により、また、車検については整備士の体調不良から人員不足となり断腸の思いでお断りさせていただきました。葬祭業務の特殊性を考慮した計画的な人材育成に努め、車検については外注整備を含め対応して参りますのでご理解願います。

《金融共済部》

Q J Aの営業時間外にJ A共済事故受付センターに連絡したが電話が繋がりにくかった。利用者が安心できるように迅速に対応してほしい。

A 混雑時の対応改善に向け、電話対応者の増員について要請して参ります。

《経済関係》

Q 転作関連貸付用農業機械（汎用コンバイン）の事前点検を徹底し、万全の状態で貸出しをお願いするとともに、休日の修理を迅速に対応してほしい。

A 転作関連貸付用農業機械（汎用コンバイン）については、そのほとんどを毎年メーカー各社に整備を依頼し事前点検を実施しております。なお、年式の古い機械があり、作業前点検を励行する等、作業機への負荷低減に努めていただきますようお願いいたします。また、休日対応については、働き方改革への対応もあり、メーカー各社の協力をいただいたうえで、必要最小限の人数での対応にならざるを得ないことをご理解願います。

Q 敷玉給油所が廃止され代替措置として代行給油をカメイ㈱と連携すると

のことだが、三本木の宇佐美4号三本木バイパス店とも提携してほしい。

A カメイ㈱様は既に燃料油やL Pガスの取引を行っていることや現在の敷玉給油所利用者の地域性を考慮し選定いたしました。他業者様との提携については内部で検討して参ります。

《営農関係》

Q 乾田直播栽培の研究会を設立してほしい。品種毎の収量調査や施肥設計をお願いしたい。

A 担い手育成や水田農業のあり方を変えるには、水田輪作が特に有効となり水稻乾田直播や水稻湛水直播の省力化が図られる技術が重要となるため、今後、水稻直播栽培の研究会等を設立する方向で検討して参ります。

Q 今のままでは若い世代がますます農協離れになるので、若い世代を取り込むような策を講じてほしい。また、担い手がいない状況なので農協が農業経営を行い農地を耕作し守ってほしい。

A 人口減少を含め、農地を耕作する担い手が今後も減少することが想定されます。農協としても3年3作や3年4作の輪作体系を基本とした農業経営事業を再構築するよう検討して参ります。

Q 種粃が事前の連絡もなく突然配達されたので、事前に連絡をしたうえで配達してほしい。

A 配送計画については、営農センター通信でお知らせしておりますが、全農流通センターと協議して、周知方法について検討して参ります。

Q 5年の水張りルールについて令和9年度からは無くなるとの事であるが、令和7年度と令和8年度の対応をどのようにすればいいのか示してほしい。

A 新聞報道等が先行しておりますが、詳細内容は示されておりません。古川農業再生委員会に正確な情報が入りましたらお知らせいたします。

Q 経営所得安定対策における助成金について、いつ入金になるのか、どの助成金なのか、そしてその明細について（単価調整があったのか等）周知して欲しい。

A 経営所得安定対策に係る各種通知書は農林水産省から直接、申請者へ発送されております。ご意見について農林水産省に要望して参ります。

Q 米価は上がっているが、経営所得安定対策等の交付金は変わっていない。生産調整の協力者が不利益とならないような対策を国等に要請してほしい。

A ご意見を踏まえ今後もJ Aグループ一体となって要請活動をして参ります。

Q 園芸推進品目について、ピーマン等の販売実績を周知してほしい。

A 1月末現在、重点品目の「なす」は85,467千円、「ねぎ」39,716千円、「えだまめ」8,471千円であり、地域振興作物の「ピーマン」については4,140千円で昨年の倍の実績となっています。「ピーマン」の作付者が年々増えてきていますので、作付希望の方は営農部園芸課または支店営農課にご相談下さい。

令和6年度 第2回集落座談会開催結果
開催期間：2月10日(月)～14日(金)

支店名	組合員 戸数(戸)	出席者数			出席率 (%)
		男(人)	女(人)	合計(人)	
東 部	1,186	211	27	238	20.1
西 部	1,502	252	26	278	18.5
南 部	1,397	240	46	286	20.5
北 部	1,749	236	28	264	15.1
計	5,834	939	127	1,066	18.3
(参考)令和5年度 同期開催	5,864	1,000	129	1,129	19.3

3JA合同帰化アサガオ防除研修会

JA古川・加美よつば・新みやぎが参加



研修会の様子

JAは2月3日、大崎合同庁舎でJA加美よつば、JA

A新みやぎと合同で「大豆栽培における難防除雑草防除研修会」を開催し、各JA管内の生産者や関係機関の約230人が参加しました。

農研機構西日本農業研究センターの浅見秀則研究員は、帰化アサガオは除草剤だけでは防除できないとし、総合防除の取り組みが必要だと指摘。「蔓延してからでは対策が難しく、日頃からの警戒、早期発見、早期対策が重要となる。初期侵入の多い畦畔は、地域で徹底した対策をしてほしい」と呼び掛けました。

結実前である9月中旬に草刈りや抜き取りを行う、親株は畦畔に放置しないなどを対策とし、親株が枯れても種子は成熟するため、発生場所を地域で情報共有す

ることが大切と説明しました。

また、埋土種子の低減には水田輪作が有効とし、輪作1度実施で通常の3〜5割、2度の実施で5〜7割低減できるとし、これらの対策を講じながら、圃場へ種子を残さないことが重要であることも説明しました。

農研機構東北農業研究センターの冠秀昭グループ長は、JA管内で実施している子実とうもろこしを導入した高収益・低投入型ブロックローテーション体系の構築プロジェクト研究を紹介。その中で継続的な水田利用に向けた子実とうもろこしの導入による新たな輪作体系で、良好な作物生育、各作物で異なる除草体系で輪作による雑草対策に有効と話しました。

帰化アサガオとは？

北アメリカ原産のヒルガオ科のつる性の一年雑草アサガオの総称で、国内では北海道から九州まで広く帰化しています。気温が高いほど生育が旺盛になり、花が次々と咲き、種子が増えていく特徴があります。

国内への侵入ルートは、①観賞植物としての持ち込み、②輸入穀物への混入（戦後）、③輸入穀物飼料への混入などが考えられています。



大豆の収穫時にコンバインから排出される種子を放置しないことも早期対策として有効

試験区で帰化アサガオ などの対策試験を実施

農薬メーカーの日産化学は、JA管内の圃場5畝で実施した帰化アサガオの防除試験の結果を報告しました。

令和6年に馬放営農組合の圃場で、トレファノサイド乳剤を使用した帰化アサガオやアレチウリの対策試験を実施。慣行処理区とトレファノサイド乳剤処理区でアサガオの発生状況や、大豆の生育を確認しました。

試験区では5月の耕起前に除草剤ラウンドアップを10㍓あたり500㍓散布し、トレファノサイド乳剤を同300㍓散布後に耕起するなど対策を施しました。初期防除が奏功した結果、10月下旬の除草時間は98.2時間となり、通常より6割圧縮できたと説明しました。

処理区



6月18日



6月25日



7月4日(アタックショット散布前)

無処理区



6月18日



6月25日



7月4日(アタックショット散布前)

JA古川管内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します

一から大豆を学ぶ 豆腐作り体験



豆腐作りを行う児童ら

JAは1月30日、大崎市立敷玉小学校の4年生20人に豆腐作りを指導しました。

総合的な学習の時間で、地域で大豆の生産が多いことが分かり、播種、収穫、乾燥、選別まで1年を通して大豆について学習しました。

見事に約3kgの立派な大豆を収穫したので、勉強の集大成として児童達で育てた「ミヤギシロメ」を使用して豆腐作りに挑戦しました。

班で協力しながら2時間の作業を行い、きれいな豆腐が完成しました。試食した児童達は「豆腐ができるまでこんなに時間がかかるのかな」と話していました。

「初めての豆腐作りで作業が多くて大変だったけど、楽しく作る事ができた」と話しました。

JA職員は「皆さんが育てた『大豆』で作った豆腐は、香りも良く、甘くておいしく出来上がりました。大豆には栄養素が多く含まれているので、苦手でも少しずつ食べてほしい。免疫効果もあるので、風邪などに負けないように食べてほしい」と話しました。

JAは食農教育の一環として、豆腐作りの他、学童農園の資材助成などに取り組んでいます。

子育て支援に役立てて 母子手帳ケース650個寄贈



母子健康手帳ケースと目録を伊藤市長に手渡す佐々木組合長(右)

JAは1月20日、大崎市に母子健康手帳ケース650個を寄贈しました。

同市の窓口で母子健康手帳の交付申請へ訪れた妊婦に配布され、この活動は今年で3回目となります。

佐々木浩治組合長や高橋郁男常務らが市役所を訪れ、伊藤康志大崎市長にケースと目録を手渡ししました。

ケースは母子健康手帳のほか、おくすり手帳や保険証などを一つにまとめて整理できるマルチケースとなっており、アンケートに回答すると、ミルクケースがもらえます。

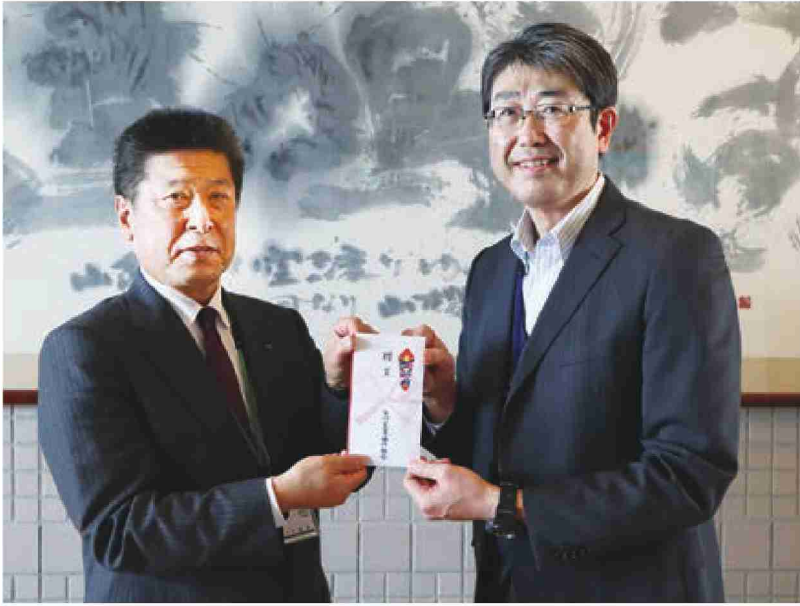
JAの佐々木組合長は「子育て支援に役立ててもらいたい。今後も大崎市の一員として次世代を担う子どもたちの育成と、安全な環境づくりに貢献していきたい」と話しました。

伊藤市長は「昨年に引き続き大変ありがたい。子どもは地域社会の宝。子どもたちの健やかな成長を願い、今後とも安心して子育てができる環境作りに参加してほしい」と感謝の言葉を述べました。

同市の令和5年の出生数は626人でした。



福祉活動に役立てて JAフェス売上の一部を寄附



高橋支所長(右)に寄附金を手渡す佐々木組会長

JAは2月6日、昨年開いたJA古川フェスティバル2024の売り上げの一部66919円を、大崎市社会福祉協議会に寄附しました。

JAの佐々木浩治組合長が同協議会を訪れ、高橋桂古川支所長に「寄附金は古川地域の福祉活動に活用してほしい」と寄附金を手渡しました。

高橋支所長は「地域のために寄附していただき、大変ありがたい。多岐にわたる地域福祉事業などの財源として使用させていただきます」と話しました。



相続について学ぶ 相続・資産相談セミナー



相続・資産についての講義を行う佐藤さん

JAは2月3日、本店で「相続・資産相談セミナー」を開催しました。

みらいえ相続税理士法人、税理士・行政書士の佐藤智春氏を講師に招き、セミナー参加者19人に相続の基本内容・生前贈与のすすめ、本当にあった相続など講義を行いました。

参加者は「とても勉強になった。NISAや共済も考えていきたい」「今後も継続してこのようなセミナーを開催してほしい」と話していました。

担当職員は「JAでもNISAや生命共済を取り扱っているので、気軽に相談してほしい」と呼びかけました。



ブランド化を目指す 古川いちご試食販売会



購入する古川いちごを選ぶ来店者

JAいちご部会は2月15日、ヨークベニマル古川店で試食対面販売会を開催。600パックを用意し、部会員2人と、JA職員1人が来店者に試食を振る舞いました。

同部会の渋谷威さんは「生育初めは夏の暑さの影響があったが、今は順調に生育している。これから収量も増加し例年通りに出荷が見込めるので、古川地域で生産されたイチゴもあることを知って、たくさん食べてほしい」と話しました。

同部会は2005年から古川地区のPRとして「古川いちご」の名称で販売し、ブランド化を目指しています。



米粉で肉まん作り 米粉クッキング



具材の包み方を指導する中川先生(左)と参加者ら

JAは2月12日、JA本店で米粉クッキングを開催。地域住民11人が参加し、米粉の肉まん作りを学びました。

パン教室も開いている菓膳コーデイナーターの中川歩美さんが講師を務め、パンやお菓子、料理の時に使う米粉の効果や、米粉でパンを作る時の注意点などを説明しました。

中川先生は「粉の特性を知ること、米粉が身近なものになる。レシピを覚えて自宅で作ってみてほしい」と話し、参加者は「グルテンフリーのパンを探していて、今回の教室を知り参加しました。発酵時間など学んだので、これを参考に体に良いものを作っていきたい」と話しました。



農宮

インフォメーション

これからの稲作管理の要点

環境保全米の使用農薬・肥料は、
下記を参照してください。

育苗管理の要点

〈播 種〉

うす播きほど苗質は良好です！

播種日は、田植えの予定日から逆算して設定します。必要以上の早播きや厚播きは障害の発生や老化苗の原因になります。

〈病害防除〉

薬剤による予防対策を徹底するとともに、高温多湿にならないよう注意しましょう。

「苗立枯病予防」

ナエファイン粉剤等を床土に混和するか、緑化時にナエファインフロアブル等を育苗箱に灌注してください。また、発根促進資材としてファイト・オーツーの使用もおすすめします。

〈灌 水〉

灌水は床土の乾燥程度を確認し、水温と気温の較差の少ない朝のうちに1日1回で済むようにたっぷり行いましょう。

※天候により灌水量を加減してください。

〈温度管理〉

時期ごとの適正温度

- ・ 出芽時30℃以内（細菌性病害予防のため30℃を超えないように）。
- ・ 緑化期の温度は、日中20℃～25℃。
- ・ **育苗期間中は高温多湿で経過すると、障害の発生につながりますので、温度管理には十分注意しましょう。**
- ・ **晩霜に注意しましょう！**

〈追 肥〉

追肥は1.5葉期を目安に実施しましょう。窒素成分で1g/箱が目安となります。

散布時期に異常低温が予想される

場合は、天候の回復を待つて散布してください。

※ロング入育苗肥料使用の場合は追肥の必要はありません。

田植2～3日前の追肥は、初期生育の促進に効果があります。

〈田 植〉

苗の種類に合った適期田植を心がけ、天候の穏やかな日に行いましょう。

〈肥培管理の注意点〉

基肥の量を決定する場合は、春先の土壌の乾燥程度で乾土効果による地力窒素を予想し、施肥量を増減します（3月と4月の合計雨量を平年と比較し、少ない場合は減肥）。

天候は毎年違いますので、生育時期に合わせた肥培管理を心掛け（腹八分目の施肥）、低温が予想されるときは、追肥の回数や量に注意しましょう。

令和7年産 JA古川米 栽培体系

（使用量：10a 当たり）

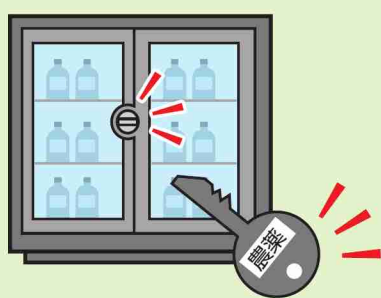
区 分		環 境 保 全 米		
項 目		ササニシキ、ひとめぼれ、東北194号（ささ結）、つや姫		
作業名	時期	使用資材名	使用量	成分数
種子消毒	3月	温湯消毒又は微生物農薬		0
苗立枯病	4月	ナエファイン粉剤 または ナエファインフロアブル（薬剤50ml+水50ℓ→100箱）	6～8g/箱 0.5ml/箱	1
発根促進	4月	ファイト・オーツー	1ml/箱 2回散布	—
基 肥	5月	環境保全米名人N12 みやぎ米有機一発218 ネオペースト1号	30kg以内 40kg以内 20kg以内	—
害虫・ 葉いもち病	4・5月	ファーストオリゼパディート粒剤 Dr.オリゼパディート粒剤	（ササニシキの例） （ひとめぼれの例） 50g/箱 1kg/10a（側条施肥時）	2
除 草	5月	カイリキZ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	1kg 500ml・300g	3

JA古川米の取り組み

JA古川では実需者との結びつきを一層強化し、環境に配慮したニーズに応じた特色ある米の作付けを推進して参ります。主な取り組みは次のとおりです。

- 実需者からの産地指定を受けての有利販売
- 環境に配慮した「環境保全米」の栽培（ササニシキ、ひとめぼれ、東北194号（ささ結）、つや姫）
- 実需者及びJAグループ宮城からの要望に応じた栽培
業務用米等への取り組み（まなむすめ、つきあかり）

農薬はきちんと保管・整理していますか？

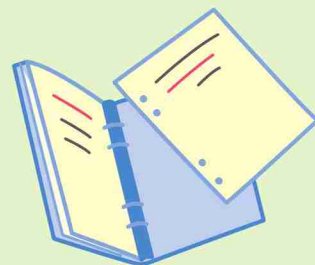


農薬専用の保管場所をつくり、鍵を掛けましょう。

- 保管場所は、食品と区別して、直射日光の当たらない、冷涼で、乾燥したところに設置する。
- 毒物・劇物の農薬は専用の保管庫に入れ、「医薬用外毒物」、「医薬用外劇物」の表示をする。
- 保管場所には、耐震性、難燃性を考慮する。
- 保管時に特別な注意が必要な農薬は、ラベルに表示されている保管管理方法に従って、分けて保管する。
- 除草剤は、他の殺菌剤や殺虫剤と分けて保管する。（誤使用防止のため）

在庫台帳を備え、入庫と出庫の記録をつけましょう。

- 有効年月もチェック。期限切れ製品の使用を避け、廃棄処理の無駄をなくす。
- 盗難防止の処置をし、盗難にあった場合、警察等に届出する。
- 紛失、流失した場合は、速やかに警察や病害虫防除所、普及センター、保健所等へ連絡する。



注意

- 他の容器への移し替えは絶対にしない。
- 万一の破損に備えて、トレーなどで混ざらないように工夫する。また、農薬が流出した時に備え吸収用の砂などを用意する。
- 保護具（手袋、マスク、メガネなど）はいっしょに保管しない。（汚染防止のため）

「異品種混入防止」を徹底しよう！

異品種が混入した場合、取引上大きな損害（産地や生産者の信頼喪失・農家手取りの減少）を被ることになります。

自分の作業内容を振り返り、繰り返し点検・確認することにより、確実な防止対策につながります。

異品種混入防止のための対策

- 購入した種子の袋は、大切に“**保管**”しておきましょう。
- 種子用アミ袋は、品種毎に“**色**”を変えましょう。
- “**品種札**”を袋につけて、作業者全員が判るようにしましょう。
- 品種の切り替わりには、“**機械清掃**”しましょう。
- 育苗ハウスにも“**品種札**”を設置しましょう。
- 田植時の苗運搬は、複数で“**事前に品種確認**”し、運搬しましょう。



営農インフォメーションに関するお問い合わせは
営農部
営農生産課・営農企画課 ☎26-2345

支店営農課

東部支店 ☎22-2207 西部支店 ☎26-2511
南部支店 ☎52-2211 北部支店 ☎28-1121

信頼される産地づくりを目指し 栽培履歴記帳運動に取り組みましょう!

本JAでは消費者から信頼される産地づくりを目指すため、令和7年産米の「栽培履歴記帳運動」に取り組みます。皆様のご協力をお願いいたします。

「令和7年産JA古川米栽培履歴記録簿」の様式について

令和7年産JA古川米栽培履歴記録簿の様式については、昨年と同じ様式を使用しております。環境保全米に取り組んでいる生産者は、使用資材に関しては○で囲むだけで済むようになっており、記入方法も簡素化されております。また「みどりの食料システム戦略」が掲げるCO₂ゼロミッションに向け、温室効果ガスとされるメタンガス(CO₂の25倍の温室効果がある)削減の取り組みを見える化すべく、「秋耕」と「中干し」の項目も引き続き記載されておりますので、「栽培履歴記帳運動」へのご協力をお願いいたします。

1 栽培履歴記録簿は黒のボールペンで記入しましょう!

黒以外のボールペンや鉛筆書きが見られました。黒のボールペンで記入し、間違った場合は「二重線」で訂正して下さい。

2 育苗肥料や培土などの記載も忘れずに!

受委託や購入苗でも記入は必要ですので、確認して記帳しましょう。育苗に使用する床土の種類と使用量を記載して下さい。

3 種子消毒の未記載が見られます!

種子消毒は必ず実施すると思われますが、未記載になっている方が見られます。

4 栽培履歴簿は栽培区分ごと一品種1枚です!

複数の品種を栽培している方は、品種ごとに必要となります。また、栽培区分ごと(環境保全米・基準米等)に記載願います。

5 乾燥調製・作業委託先の記入も忘れずに!



肉牛販売

肉牛枝肉共進会等の入賞者をお知らせいたします。(敬称略)

「仙台牛」担い手の会肉牛枝肉研究会(1月22日)

最優秀賞 高橋 林太郎 (南部支店 三本木)
優秀賞 千葉 孝幸 (東部支店 敷玉)
伊藤 周公 (西部支店 西古川)

第20回JAグループ「仙台牛」担い手枝肉共進会(2月4日)

優秀賞 鈴木 久 (北部支店 富永)

月例共進会(2月5日)

優秀賞 鈴木 久 (北部支店 富永)

子牛市場成績(本JA分)

令和7年2月14日 みやぎ総合家畜市場

(税込価格)

性別	取引頭数	平均価格(円)	平均体重(kg)	前月の平均価格(円)	前年同期(円)
牝	12	561,367	307	470,202	516,175
去勢	7	584,414	350	449,680	651,976
合計	19	569,858	323	457,800	595,783

今月の子牛市場開催日(古川上場日は11日)

3月11日(火)・12日(水)・13日(木)

おたより紹介

クロスワードパズル毎号楽しみにして解いています。とても良い頭の体操です!! 今年には孫が中学生になります。年月の経つのは早いですね。中学生生活も頑張りたいです!!

M・M(61才)

◇毎号クロスワードパズルを解いてくださってありがとうございます。クロスワードパズルは楽しく頭の体操もできるので良いですね。お孫さんも今からご入学まで緊張されているかと思いますが、勉強に部活と楽しい学校生活を過ごしてほしいですね。

2月に入った途端、連日の大雪。雪かきに追われています。(笑) 雪に埋もれた大根でおでんを作り、青菜も食べたいがこれは無理!と諦めたり…。何事も程々が良いのですが…。早く紅梅とウグイスの美しい声が聞きたいです。 Y・K(63才)

◇雪かき、お疲れ様でした。大雪の中から大根を掘り出すのも大変だったことでしょう…。ウグイスの鳴き声は聞こえてくると、春が来たことを実感します。暖かい春が待ち遠しいです。

2月号の表紙に美里町で落札される子牛を、女性の方が誘導しているのを拝見し、とても頼もしく、感動いたしました。

K・S(87才)

◇子牛市場の現場取材させていただきましたが、堂々としていてカッコ良かったです。今後もJA管内の女性が活躍する場面をご紹介します。

昨年はかぼちゃを栽培しました(5本)。全然手もかけず、草取りもせず野放し状態。様々なかぼちゃ30個以上の収穫に“ビックリ”お友達にお裾分けしました。昨年のJA祭りの規模の大きさに感激、とても楽しい一日でした。今年も行きます。

M・Y(67才)

◇イラストを描いていただき、ほっこりしたと同時に様々な形のかぼちゃが収穫できたことが想像できました。JAまつりにもお越しいただきありがとうございました。今年度も楽しみに!

庭にスズメがいっぱい。雪が溶けた下に杉の種を忙しくつついているのを、こたつの中から眺めています。

R・S(67才)

◇寒さを凌ぐため、まん丸になったスズメたちが忙しく動く姿はつい見入ってしまいますよね。私たちも負けじと、この冬乗り切りましょう!

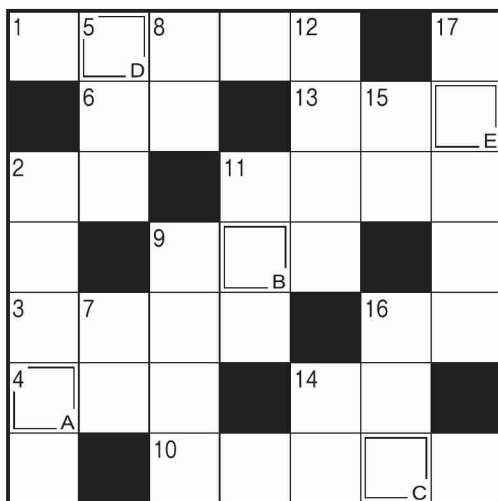
45年前のひな人形を飾っても、今は誰にも見てもらえない? おひな様が寂しそう!

A・S(72才)

◇45年前のひな人形なんて素敵～! 大事にされているんですね。さぞかしお着物も美しい事でしょう。A・Sさんのお嬢様のお祝いだったのかしら? お雛様は45年経った今でも箱から出してもらい飾ってもらえてきっと喜んでいますよ。

このコーナーでは素敵なお写真、絵手紙なども募集しております。Eメールの方はこちらまで: info@jafurukawa.or.jp

クロスワードパズル



二重枠に入った文字を、A→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

答え A B C D E

応募方法 郵便はがきにてご応募ください

85	989-6171	応募方法(ハガキ裏)
JA古川	大崎市古川北町	●パズルの答え
総務部組織広報課	三丁目10番36号	●住所・氏名・フリガナ
		年齢・電話番号
		●身近な話題
		JAへのご意見
		本誌への感想等

ヨコのカギ

- ① 富山湾でとれるものが有名な春の味覚。青く光ります
- ② 茶わんのセットや重箱を数えるときに使う言葉
- ③ 手品、マジックともいいます
- ④ 来週の火曜日——にもう一度来てください
- ⑥ 祝い事につきものの魚
- ⑨ 麻雀で上がる前にかけることも
- ⑩ これが終わると新学期。入学式もあります
- ⑪ インクを付けて押します
- ⑬ テニスの試合で——の応酬が続いた
- ⑭ 鬼さんこちら、手の鳴る——へ
- ⑮ よく×(バツ)と対比されます

タテのカギ

- ② タイヤにつないでシュコシュコ
- ⑤ 柔道場に敷かれているもの
- ⑦ 新しいクラスで——紹介をした
- ⑧ ——は友を呼ぶ
- ⑨ 茶道では表千家、裏千家など
- ⑪ 真新しい——を着て入社式に臨んだ
- ⑫ 漢字で書くと枸橘、枳殻。春に白い花を咲かせます
- ⑭ 海のパイナップルと呼ばれる海産物
- ⑮ 肥料の三要素は窒素、——酸、カリウム
- ⑯ パソコンの入力装置のひとつ
- ⑰ 4月のこと。——・フール



「一番搾りキャノーラ油」1,000mg

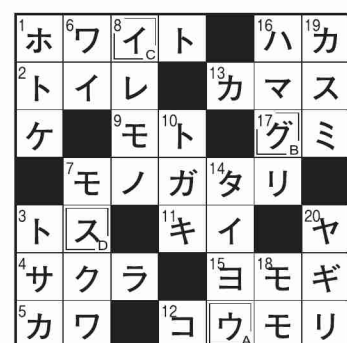
正解者の中から

抽選で5名様に
エコープマーク品を
プレゼント

締切は3月21日の
消印まで

2月号パズルの答え

ウグイス
A B C D



当選おめでとうございます!

2月号の当選者(正解者は54人でした)

東部支店	菅原	みわ	さん
西部支店	武田	清江	さん
南部支店	佐藤	千恵	さん
南部支店	高橋	和夫	さん
北部支店	渋谷	栄昭	さん

※ご応募に際し取得した個人情報は本JAの業務以外には一切使用しません。また、応募いただいたご意見と当選者名を掲載することをご了承の上、応募ください。

古川農業協同組合 宮沢給油所 営業時間変更の お知らせ

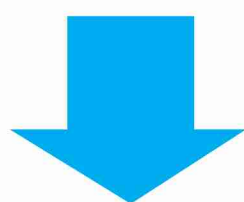
日頃より古川農業協同組合 宮沢給油所をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。この度、当給油所では、令和7年4月1日より下記の通り営業時間を変更させていただきます。

今後とも変わらぬお引き立てのほど宜しくお願い致します。

令和7年3月31日(月)まで

営業日：毎週月・水・金

営業時間：7：00～19：00



令和7年4月1日(火)から

営業日：毎週月・火・水・木・金・土

営業時間：7：00～19：00

※定休日：日曜・祝日



古川農業協同組合 宮沢給油所



令和6年度新採用職員紹介（2月1日付）



総務部組織広報課 教育広報係

こまつ ひろのり
小松 広典

1日でも早く、多くの方々に信頼していただけるよう日々精進して業務に取り組んで参ります。



総務部組織広報課 生活指導係

むらおか ながこ
村岡 良子

笑顔を絶やさず、組合員の皆様に信頼
していただける職員を目指します。



宮農部畜産課 畜産係

しょうじ えりこ
庄司 絵梨子

真心と丁寧を心掛け信頼される職員を目指します。

理事会だより

第13回理事会 令和7年1月30日(木)

- | | |
|-------|---------------------|
| 第1号議案 | 令和6年度第3四半期実績の検討について |
| 第2号議案 | 令和6年度末推定実績の検討について |
| 第3号議案 | 令和7年度水田農業の推進について |
| 第4号議案 | 新本店での営業開始日の決定について |

報告事項

- (1)一斉集落委員会及び第2回集落座談会の開催について
- (2)第4回本店移転改修工事委員会の開催結果について
- (3)農政フォーラムの開催について
- (4)理事会で決議した事項に関する報告について
- (5)余裕金の運用状況について
- (6)大口の信用の供与等先の経営状況等について
- (7)JAバンク宮城ローンセンターの業務実施状況について
- (8)農作業中傷害共済推進の実施について
- (9)令和6年産米集荷数量について
- (10)枝豆調整所の作業遅延並びに調整ライン簡素化による収入減補償について
- (11)組合員の加入及び脱退の状況について
- (12)12月末主要事業の実績について

来月の税務相談会

- 相談日 **3月28日(金)**
 ■相談時間 14:30～(予約制です)
 ■相談会場 東部支店 金融課・共済課
 (大崎市古川北町三丁目10番36号)
 ■お申し込み・お問い合わせ先
 完全予約制です。お早めに最寄りの支店にお申し込み下さい。

補聴器の個別相談会

無料で聴力測定や補聴器の相談を承っておりますのでお気軽にご来場ください。
ご自宅での出張聴力測定・相談も承ります。

- 1回目** 日時 令和7年4月3日(木)
 受付 13:30~15:30まで
 場所 JA古川 経済部 生活課
 (大崎市三本木字善並田145)

- 日時 令和7年4月15日(火)
受付 13:30~15:30まで
場所 JA古川 北部支店
(大崎市古川桜ノ目字下り松6-10)

どなた様でもお気軽にご相談ください。ご本人様、ご家族の方、
現在補聴器をご使用の方もお気軽にお問い合わせください。
※1回目、2回目の会場が異なりますのでご注意願います。

お問い合わせ JA古川 経済部 生活課 TEL 52-5116

JA古川の概況

(令和7年1月31日現在)

正組合員戸数	4,780戸
准組合員戸数	2,388戸
正組合員数	7,673人
准組合員数	2,769人
出資金	1,430百万円

編集後記

先日、とある方から「農業新聞に載っている記事を見て、とても良い写真だと思ったから連絡した。これからも見ているから頑張っ
てね」とお電話をいただきました。お褒めの言葉をいただける
とは思っておらず、朝から嬉しい気持ちになりました。広報担当になり2年が経過し、間もなく3
年目になります。農業新聞だけでなく、良い広報誌もお届けできるよう精進して参ります。

(広報担当)

今後の主な行事予定

3月6～7日 2025 J A 古川春の農業
機械・自動車合同展示会
11日 オーダースーツ展示販売
21日 新本店竣工落成式
24日 新本店営業開始
27日 第15回理事会
29日 敷玉給油所最終営業日
4月1日 辞令交付式
11日 第1回理事会

本店移転に関するお知らせ

日頃より、JA古川をご利用いただき誠にありがとうございます。
本組合は令和7年3月24日(月)より、旧大崎市立富永小学校へ本店を移転し営業いたします。
移転に伴い、本店住所及び各部署の電話番号が下記のとおり変わりますので、お間違えのないようお願いいたします。

1. 新本店住所

〒989-6266 宮城県大崎市古川富長字五右工門6番地2

2. 営業開始日

令和7年3月24日(月)

3. 移転部署および電話番号

○総務部(総務課、企画管理課、組織広報課、融資審査課)

電話:0229-87-8051(代表) FAX:0229-87-8820

○金融共済部(貯金課、融資課、共済保全課、共済推進課)

電話:0229-87-8056(代表) FAX:0229-87-8823

○営農部(販売課、園芸課、畜産課、マーケティング課、営農企画課)

電話:0229-87-8057(代表) FAX:0229-87-8863

※営農部営農生産課は、これまで通り営農センターで業務を行います。

※東部支店(金融課、共済課)は、引き続き現本店1階で営業いたします。

4. ATMの設置について(令和7年4月1日(火)より)

新本店1階エントランスにATMを1台設置いたしますのでご利用ください。

稼働時間は本店営業日の午前8時45分から午後5時までです。

なお、**土曜日、日曜日、祝日その他本店休業日は利用できません。**

臨時休業について

本店移転作業のため

**令和7年3月22日(土)は
敷玉給油所及び宅建課を**

臨時休業とさせていただきます。

※生活課(葬祭)は通常営業いたします。

※南部、西部、北部支店及びAコープ古川店ATMは午前9時から午後5時まで稼働いたします。



緊急時 連絡先

- ◆生活課(葬祭)..... ☎52-5117(年中無休24時間)
- ◆共済保全課(交通事故のお問合せ) ☎23-6516 《夜間・休日》 ☎0120-258-931(フリーダイヤル)
- ◆自動車燃料課(プロパンガス切れ) ☎26-5081 《夜間・休日》 ☎0120-182-571(フリーダイヤル)
- ◆営農部(営農センター)..... ☎26-2345 ◆全農流通センター(資材注文) ☎0120-558-431(フリーダイヤル)